



第93回全道メーデーが5月1日札幌市大通西6丁目広場で開催されました。

今年のメーデーは昨年に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、構成産別・未加盟労組・市民団体の参加は求めず、また登壇者も最小限での式典開催となりました。

オープニング映像では「一人ひとりが尊重される、多様性を認め合う社会をめざし、みんなが輝く未来をつくろう!」とのメインスローガンから、北海道LGBTネットワークのみなさんにご協力いただき、性の多様性を認め合う地域社会の実現を目指す「さっぼろレインボープライド」の活動を紹介するメッセージ映像を作成しYouTubeLiveで配信しました。

式典では最初に杉山大会長が「私たち労働組合の本質は基本的人権を護ることにある。性の多様性をはじめとする、互いの様々な違いを誰もが尊重し自分らしく生きられる社会を目指すには、私たち一人一人の人権をお互いが認め、そして護るべき」と述べ、さらに「今この時もウクライナでは尊い命が、ロシアによる戦争で失われている。生きる権利すら奪う戦争は最大の人権侵害。いかなる理由があろうとも許されるものではない。戦争や新型コロナ禍がもたらす『差別』『偏見』に対し、われわれ労働組合が強い決意をもって『団結』と『連帯』の絆を強め、命と暮らし、人権を守るため、力強く前進していこう」と決意をこめて挨拶。

つづくメッセージ・祝電披露では北海道知事・札幌市長からのメッセージが紹介されたのち、スローガンと「社会を支え続ける仲間たち、すべての働く仲間の奮闘を互いに称えつつ、誰一人取り残されることのない社会、一人ひとりが尊重される多様性を認め合う社会をめざし、みんなが輝く未来を、力をあわせてつくっていこう」を結語とするメーデー宣言が読み上げられました。

特別決議は「集団的労使関係の輪を広げ、曖昧な雇用で働く者の権利保護の実現を求める特別決議」、「ウクライナへの軍事侵攻に反対しロシア軍の即時撤退を求める特別決議」、「第26回参議院選挙勝利に向けた特別決議」の3本の特別決議が読み上げられ、メーデー宣言とともに連合北海道HP上での確認を求めました。

次に今夏の第26回参議院議員選挙を闘う候補予定者が登壇。9人の比例代表候補予

定者は写真により登壇し、連合北海道が推薦する北海道選挙区の候補予定者2人が登壇・挨拶しました。



立憲民主党北海道 徳永エリ参議からは「参議院選挙まで2ヶ月余り。3期目の挑戦はこれまでの選挙とは全く違った環境の中での厳しい選挙。皆様からご推薦は大変心強く感謝します。比例代表連合推薦、党が違って私も仲間だと思っています。現職、新人9人皆さんの完勝のためにも共に頑張ります。今回の選挙戦『次世代へつなぐ安心の未来』をキャッチフレーズに闘います。子を持つ母親として、次世代にツケを回したくないという思いからです。低賃金では結婚し子供を産み育てることもできない。貧困で人間らしい暮らしもできず、ともすると命の問題にもなりかねない。また国の借金や食糧安全保障、防衛予算の倍増と核共有の平和の問題など、課題は山積しています。皆様のお支えが本当に大きな力となります。どうぞ勝たせて下さい」と挨拶がありました。

つづく国民民主党北海道 白木秀剛候補予定者は「来たる参議院選挙に向けてご推薦を賜り改めて感謝申し上げます。収束が見えないコロナ禍の中で、今の日本社会が抱える様々な課題が浮き彫りとなった。多様化し、大きく変わっていく働き方や、家族、地域のあり方などに制度や政策が追いついていない。新しい社会を豊かにするためには、古くなった制度や政策を新しくアップデートしていくべき。そのためには北海道の働く仲間のために汗をかかれてきた徳永議員に引き続き国政の場で活躍していただき、そして私も国政の場で、徳永議員とともに働く仲間のための政策を実現出来るように全力を尽くして活動して参りたい。メーデーのスローガンである『一人ひとりが尊重される多様性を認め合う社会』こそ、これからの新しい社会のかたち。そのための政策、『新しい答え』を提案し、実現に向けて全力で取り組み続けます。新しい社会・新しい北海道をともに作ってまいります。」と挨拶がありました。



第93回全道メーデー式典は最後に、2人の北海道選挙区参議院選挙候補予定者と、9人の全国比例代表候補予定者が登壇したまま、杉山大会長による団結ガンバロー三唱により式典を終了しました。